

ミスミグループ

2022年3月期 決算報告

2022年5月9日
代表取締役社長
大野龍隆

21年度決算の概要

為替レート(対円)	FY20 実績	FY21 実績
USドル	106.2円	112.9円
ユーロ	123.7円	131.0円
人民元	15.6円	17.6円

目次

1. 21年度決算の概要	2
2. 22年度通期連結業績見通し	13

21年度市況と当社の取り組み

コロナ禍からの回復が進む中、顧客需要は総じて高水準で推移

しかしながら

- ・ 各種材料・部品の品薄状況が改善されず、一部供給困難
- ・ 投資、量産需要は堅調も、設備立ち上げや稼働率は頭打ち
- ・ 期末にかけてウクライナ情勢、中国のコロナ影響で更に混乱

これらの影響を受けつつ、当社は

- ・ 全地域で回復した自動化需要を的確に捉えることに尽力
- ・ 昨年度から取り組んでいる収益改善策を徹底継続
- ・ 一部供給制約あるも、確実短納期の強みを発揮

ビジネスモデルの強靱化を図り、過去最高の業績を更新

21年度 決算概要

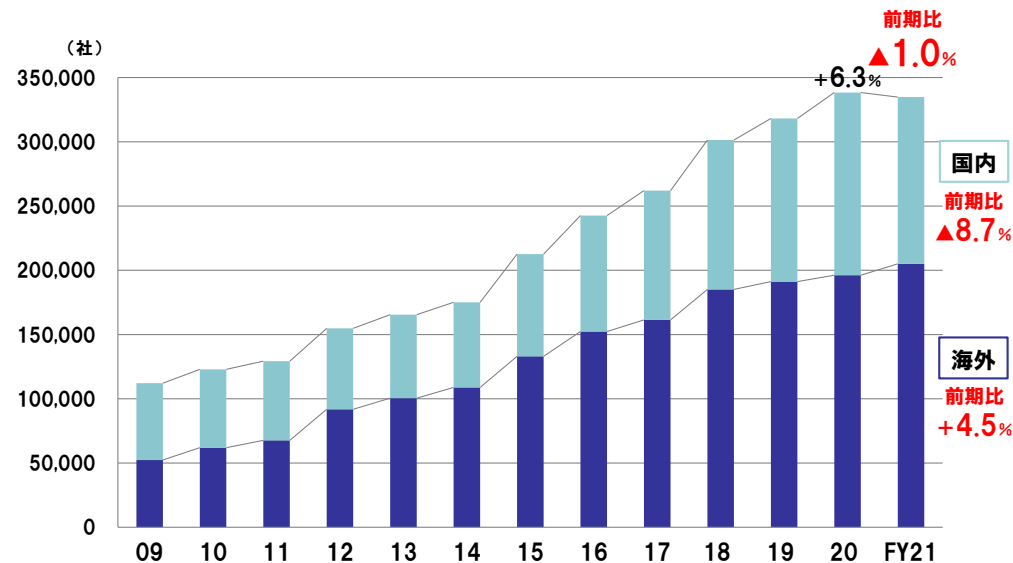
好調な需要及び、独自施策のミックスにより過去最高業績を更新
一部の地域でコロナ影響を受けるも、年間では計画通りの着地

項目	FY20	FY21			
		1/28 修正計画	実績	増減率	
	実績		対前年	対計画	
売上高	310,719	366,000	366,160	+17.8%	+0.0%
営業利益	27,199	52,000	52,210	+92.0%	+0.4%
利益率	8.8%	14.2%	14.3%	+5.5pt	+0.1pt
経常利益	27,189	52,000	52,500	+93.1%	+1.0%
当期利益	17,138	37,000	37,557	+119.1%	+1.5%

4

顧客数推移

海外: 期末LD下の中国は前年並みに留まるも、他地域は増加継続
国内: コロナ特需からの反動で顧客数減少も単価は上昇



5

21年度 事業別売上高

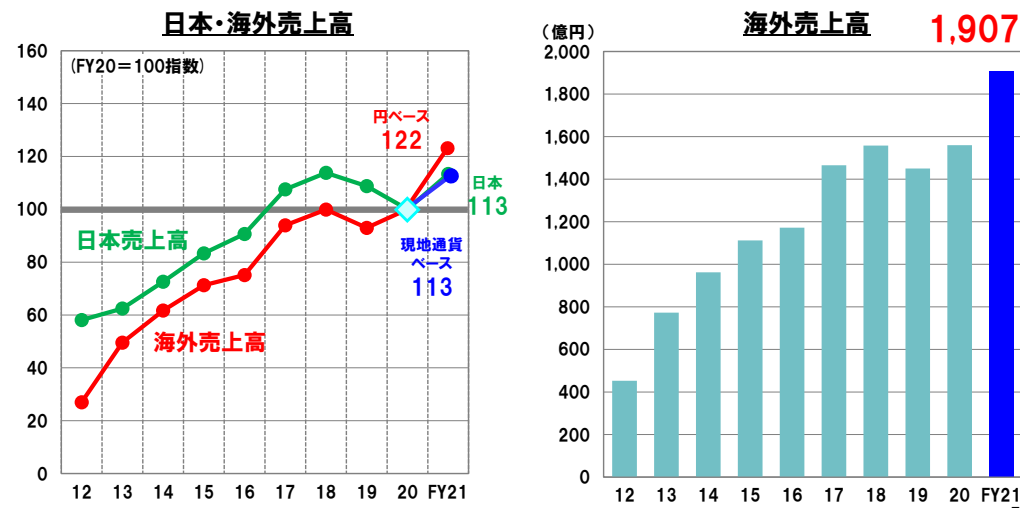
FA 旺盛な自動化需要により全地域で大きく伸長
金型部品 米・亜がけん引し、グローバルで自動車関連需要が回復
VONA 販売中止や一部商品不足の影響あるも大幅増収

項目	FY20	FY21		
		実績	対前年増減率	
	実績	円ベース	現地通貨ベース	
合計	310,719	366,160	+17.8%	+13.1%
FA事業	102,244	119,253	+16.6%	+11.8%
金型部品事業	66,871	75,108	+12.3%	+6.1%
VONA事業	141,602	171,799	+21.3%	+17.3%

6

21年度 日本・海外売上高

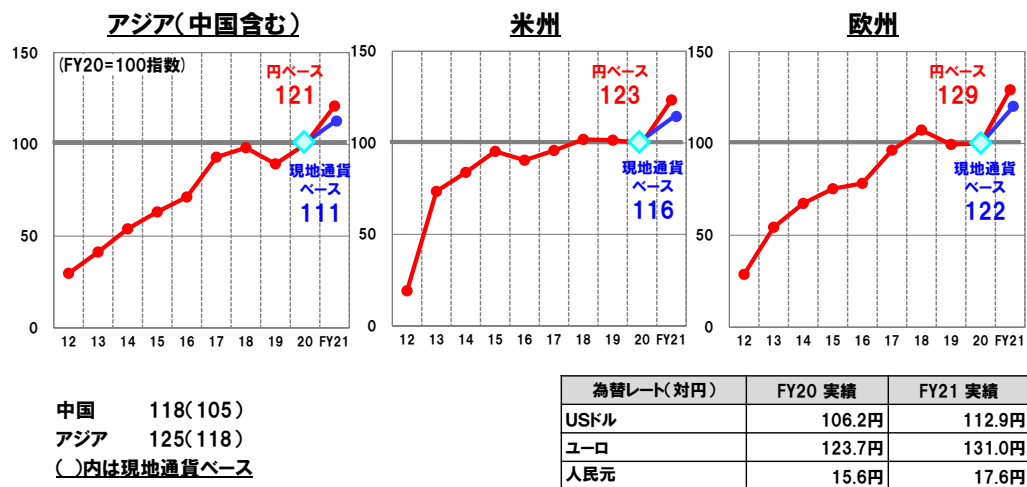
日本 半導体関連を中心に市況回復も、過去最高更新に至らず
海外 全地域で増収かつ過去最高を更新
結果、海外比率は52.1%、前年比+1.9pt



7

21年度 地域別売上高(現地通貨ベース)

アジア 年間を通じ二次電池や半導体関連がけん引
米・欧 顧客基盤の拡大に伴い、EV・医療を中心に堅調に推移



8

21年度 事業別営業利益

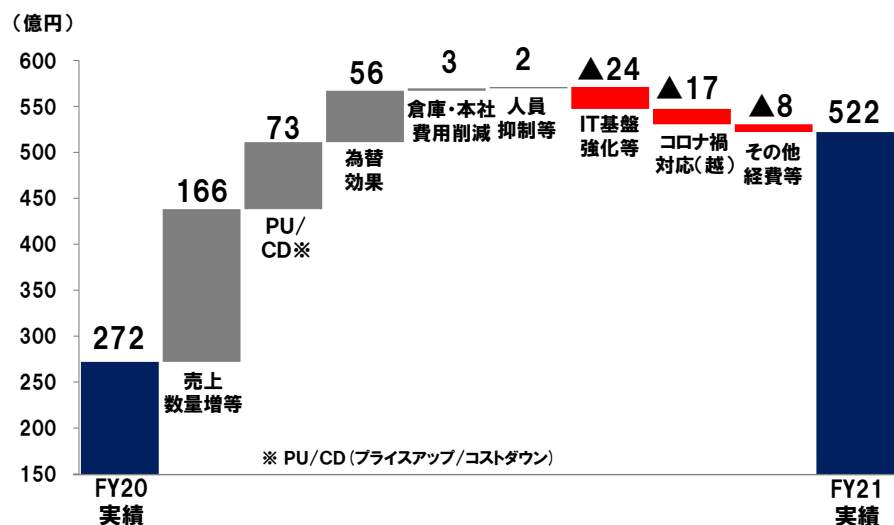
売上増/収益改善効果/為替効果で各事業とも大幅増益
次の成長に向けた事業基盤強化への支出は期の後半から再発動

項目	FY20		FY21			
	実績	利益率	実績	利益率	対前年増減率	
					円ベース	現地通貨ベース
合計	27,199	8.8%	52,210	14.3%	+92.0%	+71.4%
FA事業	16,115	15.8%	23,381	19.6%	+45.1%	+31.1%
金型部品事業	4,930	7.4%	9,542	12.7%	+93.5%	+74.8%
VONA事業	6,152	4.3%	19,287	11.2%	+213.5%	+174.1%

9

21年度 営業利益増減分析(前年比)

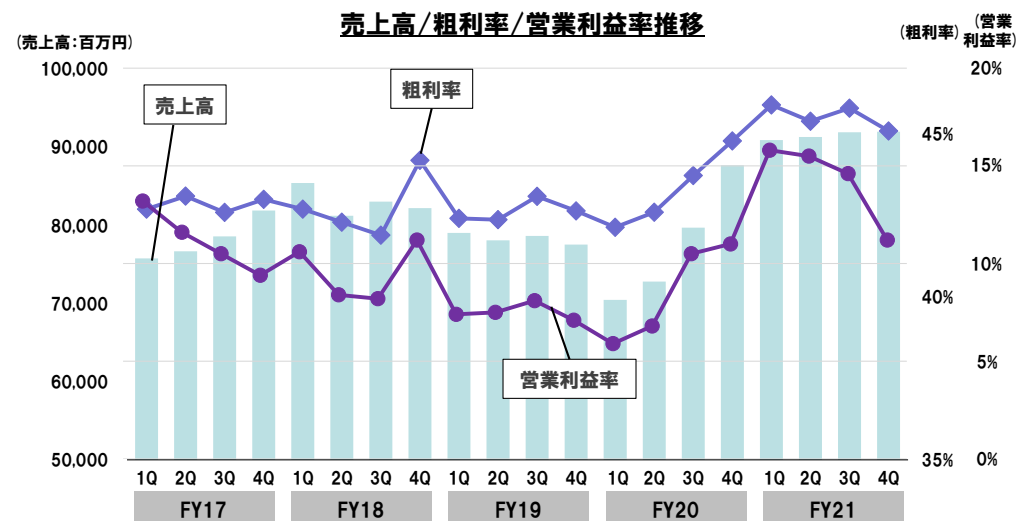
地合い(需要、為替)回復と同期した収益改善が奏功し過去最高益
コロナ禍対応等費用に留まらず、ITなど事業基盤強化の支出をカバー



10

利益性四半期毎の推移

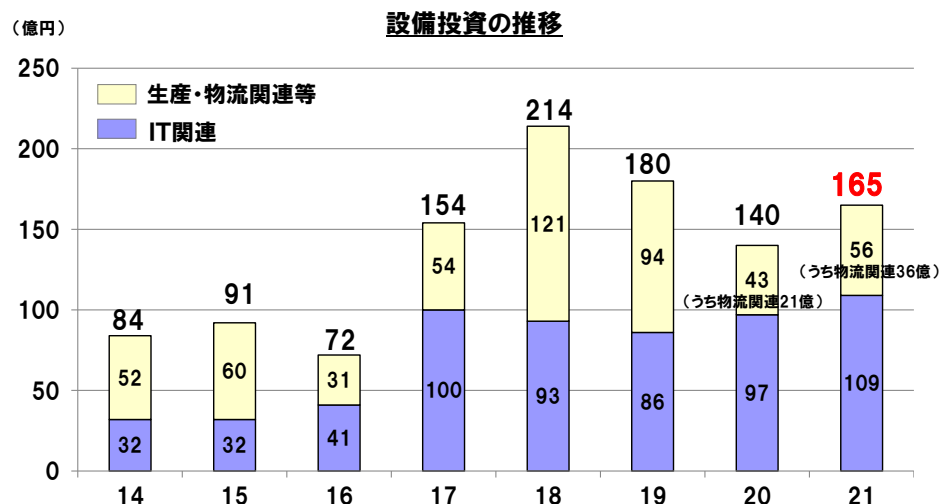
計画を上回る収益改善により、材料費等の急なコストアップを吸収
体質改善を果たし、成長のための費用を捻出しつつも高収益性確保



11

投資実績

ビジネスモデル革新に不可欠な基幹システム刷新を継続・強化
グローバル确实短納期の磨き込みに向け、物流・生産投資も発動



12

22年度通期連結業績見通し

為替レート(対円)	FY21 実績	FY22 計画
USDドル	112.9円	120.0円
ユーロ	131.0円	132.0円
人民元	17.6円	18.7円

13

22年度市況の見立て

前年からの市場動向・トレンドには**大きな変化なし**

- ・ 旧来の自動車・携帯からEV、ロボット、半導体が主役に
- ・ グローバルサプライチェーンは各地域ブロック化が進展

FY22は好・悪材料入り交じり、**慎重な判断**をせざるを得ず

- ＋：自動化需要は中国を始め各地域で中期的にも継続拡大
- －：半導体始め主要部材の供給難は今期後半まで継続
(自動化装置の出荷高規模を決めるのは半導体供給能力)
- －：ウクライナ情勢、コロナ収束には楽観論の採用は困難

これらを踏まえ、当社は

- ・ 成長性・収益性の高い地域/事業/サービスへの**集中を加速**
- ・ **确实短納期が勝負**、事業基盤の革新継続により更に進化
- ・ 収益改善で得た体質をテコに**攻めの成長**を追求

14

22年度 通期業績見通し

市況の不确实性増すも売上・利益ともに過去最高更新を計画
モデル革新への取り組み強化しつつも高収益性を維持

項目	FY21 実績	FY22 計画		
		計画	対前年増減率	
			円ベース	現地通貨ベース
売上高	366,160	403,500	+10.2%	+7.2%
営業利益	52,210	57,300	+9.7%	+2.2%
利益率	14.3%	14.2%	▲0.1pt	▲0.7pt
経常利益	52,500	57,600	+9.7%	-
当期利益	37,557	42,000	+11.8%	-

百万円

15

22年度 事業別売上高見通し

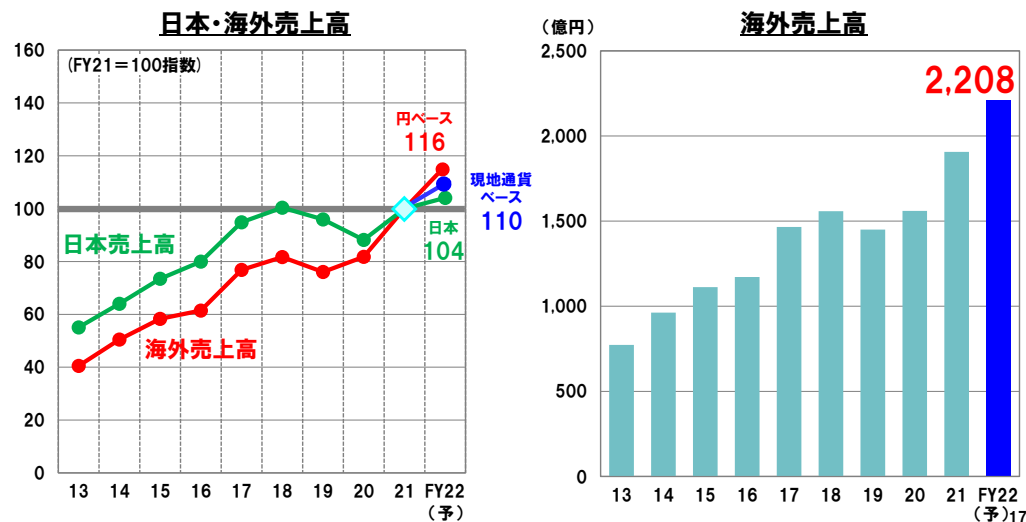
FA・VONA:堅調な市況に加え、品揃え改革や在庫積み増しで成長
金型:既存領域の強化継続およびEV需要を捉え増収を見込む

項目	百万円			
	FY21 実績	FY22 計画	対前年増減率	
			円ベース	現地通貨ベース
合計	366,160	403,500	+10.2%	+7.2%
FA事業	119,253	134,372	+12.7%	+9.7%
金型部品事業	75,108	80,926	+7.7%	+3.4%
VONA事業	171,799	188,201	+9.5%	+7.1%

16

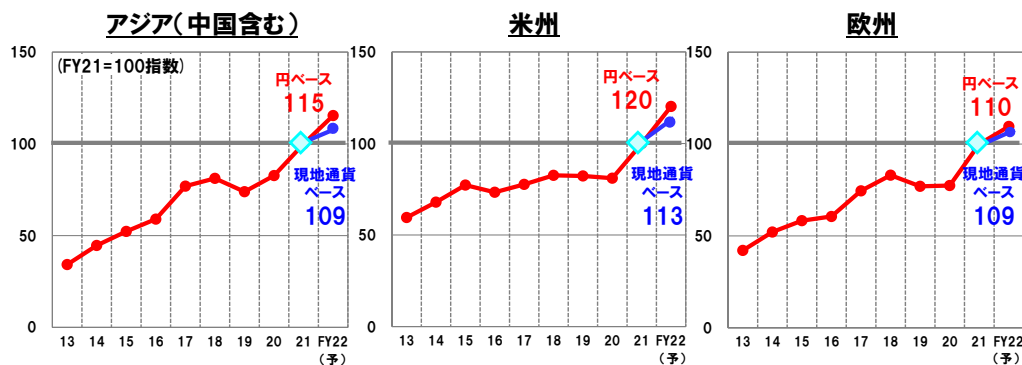
22年度 日本・海外売上高

日本 meviyをはじめ、独自商品やサービスで成長確保
海外 中・亜がけん引し各地域とも成長継続
結果、海外比率は54.7%、前年比+2.7pt



22年度 地域別売上高(現地通貨ベース)

アジア 中:品揃え強化でローカル需要獲得 亜:量産工場攻略継続
米・欧 EV・医療など成長分野を皮切りに市場浸透の加速を図る



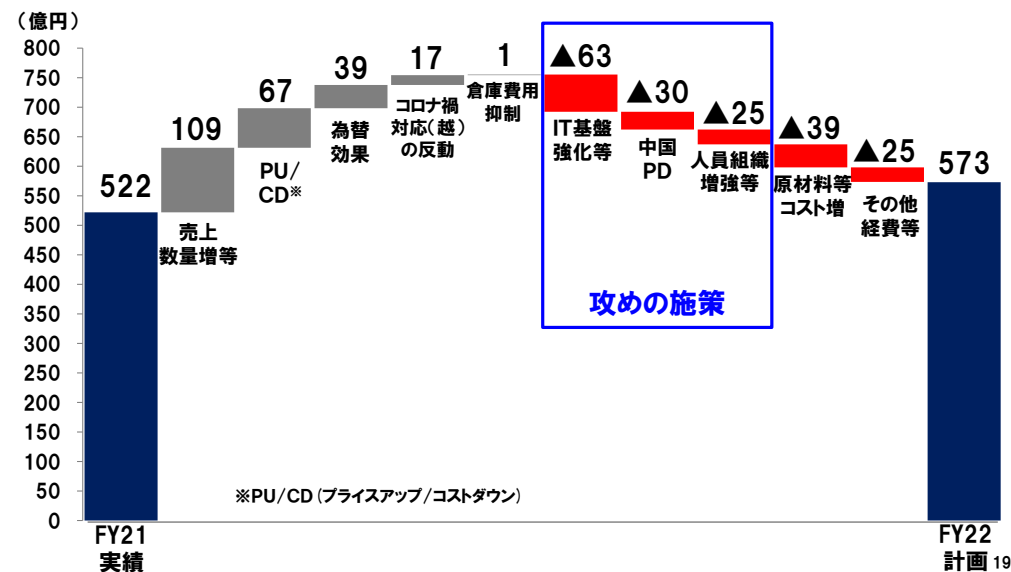
中国 117(109)
アジア 114(109)
()内は現地通貨ベース

為替レート(対円)	FY21 実績	FY22 計画
USドル	112.9円	120.0円
ユーロ	131.0円	132.0円
人民元	17.6円	18.7円

18

22年度 営業利益増減分析(前年比)

売上増/収益改善/為替等の効果は継続する見込み
次の成長に向けて取り組む「攻めの施策」を実行するも増益を確保

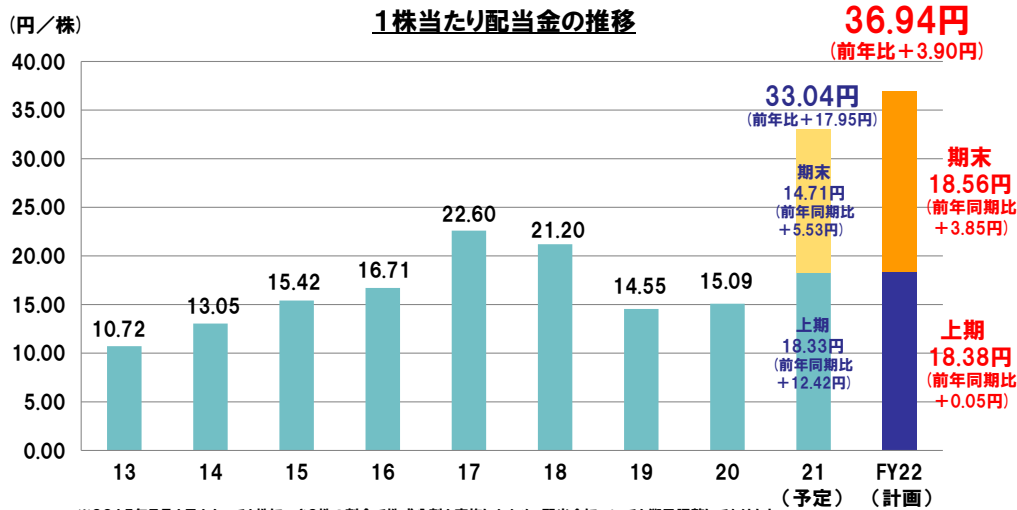


※PU/CD (プライスアップ/コストダウン)

FY22 計画 19

株主還元

21年度は、通期33.04円の配当を実施予定
 対前年17.95円増、前年比219%、過去最高を更新
 22年度は、通期36.94円の配当を見込む(配当性向25%)



まとめ

地域別モデル革新を加速し、「攻め」の経営により次の高成長を目指す

